

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0572110104		
法人名	社会福祉法人 大館圏域ふくし会		
事業所名	グループホームたしろ(ふきのとうユニット)		
所在地	秋田県大館市岩瀬字上岩瀬上野35番地		
自己評価作成日	平成30年1月15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団
所在地	秋田市御所野下堤五丁目1番地の1
訪問調査日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平成29年度の事業計画は①家庭的な雰囲気の中で、可能な限りその有する能力に応じ自立した生活を営み、利用者の声が反映されるよう創意工夫し認知症ケアの充実を図る。②月1回の広報誌「かわら版」の発行、家族・ボランティア交流、保育園児との交流を通し、地域・家族に開かれた事業所を目指す。③「運営推進委員会」の設置により、事業所の更なる良好・健全な運営を図る。④防災計画を基に、夜間体制の確保・消防避難訓練等を実施し、長慶荘本体と連携し利用者の安全確保に万全を尽くす。⑤病気等の早期発見、早期対応に努めて健康的な生活の継続を図る。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～53で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
54	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	61	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
55	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	62	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
56	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	63	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
57	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	64	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
58	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
60	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を掲げ、入居者それぞれが、その人らしく安心して生活出来る環境づくり、支援を行っている		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所の民家花壇見学や隣接保育園児との交流会や月間行事に朗読の会、大正琴サークルとの交流の機会を設けたりしている		
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	施設見学者やボラティア・運営推進委員会等で地域の方々との関わり合いの中で行っている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所での生活の報告をし、委員との情報交換により意見や希望を記録し、回覧して職員間で共有してサービス向上を目指している		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	取り巻く環境や他業者の状況などを聴いて社会情勢に敏感であるように市担当職員との連絡は取るようにしている		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	◆玄関の施錠や身体拘束はしない取り組みをしている ◆ベット位置、ベットガードにも配慮している		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	月1回の在宅グループ学習会の学習項目の1つになっており、資料や参加者の所感を回覧し共有している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	月1回の在宅グループ学習会の学習項目の一つになっており、専門職に相談しながらその人にとってより良い生活の支援を目指している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	パンフレットを配布し十分な説明の元、入居してもらっている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	◆面会時を含め、事あるごとに連絡を取り意見要望を聴き、職員間で共有している ◆各施設の利用者参加の座談会を開き、記録に残し回覧のうえサービスに反映させている		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎朝の申し送りや月1回の職員会議の他、随時にも対応している		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人内での自己評価があり、職員個々の目標や意見も文書提出あり、それを基に代表者による面談を通して個々の評価を適正に行うようにしており、職場環境・条件にも反映している		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得に向けての補助・助成も含め推奨している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の施設間交流はあるものの、それ以外はあまり無い		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ◆傾聴することから始め、会話することで安心してもらうようにしている ◆入居前の情報を基に不安を軽減する努力をしている 			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ◆家族との横の繋がりを大切に、面会時などにも気軽に意見を出してもらうようにしている 			
17		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ◆家族的な雰囲気・環境作りをしている ◆食事準備、洗濯等助け合って生活している ◆夜勤等で一緒に泊まることを話すと安心の様子がみられる 			
18		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ◆毎月の出来事や様子などをお便りで家族に伝えている ◆入居者の心身に変化のあった時は家族に相談しながら支援方法を考えている 			
19	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ◆面会者がいつでも来られるようにしている ◆かつての居住地・家等を巡るドライブをしている 			
20		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ◆入居者の性格・気性・得意分野の把握に努め、共通点を見出し孤立感無く生活できるようにしている 			
21		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ◆入居当時の関係を維持すべく相談・支援の門戸は開いている 			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
22	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<ul style="list-style-type: none"> ◆コミュニケーションを図りその人の意向に沿った生活を支援している ◆家族の希望を含め、本人本意の生活に近づける努力をしている 		
23		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ◆入所時の面接記録や本人との会話することにより情報を得ている ◆家族との交流からも情報を得ている 		
24		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	◆日々の状態観察と規則正しい生活、又は本人のペースでの生活を朝夕2回の申し送りなどで共有している		
25	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	◆本人の希望を第一に家族の協力も得ながら職員間で話し合いながら行っている		
26		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	◆毎日、それぞれの生活状況を記録に残し、状態に変化のある時は職員間で共有し話し合える環境を作っている		
27		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ◆隣接保育園児との交流で元気をもらったり、近所散策で景色を楽しんだりしている ◆避難訓練に地域の方々の参加を頂き、避難時の協力体制を確認したり、タンポ会などで交流している 		
28	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	状態変化のある時などは家族にも通院に同行してもらい、関係性を保ちつつ本人の健康状態を医療関係者に相談している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	かかりつけ病院に状態報告し、通院指示を仰いでいる		
30		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	◆入居者と病院の懸け橋となるように頻回に訪問し、状態を把握するようにしている ◆サマリー交換をしている		
31	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人・家族の意向を確認しながらその時の状態にあった支援が出来るようにしている		
32		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の行動・連絡手順を図表化し配布・掲示して事あるごとにシュミレーション・訓練している		
33	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	◆避難訓練は夜間と日中想定で反復訓練をしている ◆1年に1度は地域の方に参加お願いし避難誘導に参加してもらい反省点等の確認を行っている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
34	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	◆本人の主張・行動・希望を受け入れ、敬意をはらいその人らしい生活の支援に努めている		
35		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	◆本人の行動を見守り、制止・抑制の無い支援の実践に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	◆会話することにより希望や要望を引き出し、遠慮の無い生活を支援している		
37		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	◆本人希望で化粧や、着替えもしてもらっている ◆季節感のある着衣・身だしなみの支援を行っている		
38	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	◆昔ながら郷土食、だまこ鍋作りは喜んで参加してもらっている ◆希望メニューを献立に組み込んで ◆食器拭き等は進んで手伝ってくれている		
39		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	◆毎食事量をチェックし、食事状態も見ながら量や形態を変えている ◆特に水分補給は勧めるようにしている		
40		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	◆自力で行う方、声掛けで行う方、介助の方も毎食後行ってもらっている ◆数時間摂り外し可能な方は義歯洗浄剤消毒もやっている		
41	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	◆排泄チェック表を作成し本人ペースを把握して時間を見てトイレ誘導したり、排便間隔を観て下剤使用したりスムーズな排泄を支援している ◆排泄一連の動作は可能な限り見守る体制で行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動・水分補給の大切さを伝え、歩行運動・体操などを一緒に行ってもらい、水分は最低でも1日1000ml以上を摂取目標にしている		
43	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	基本、入浴日・時間は決めており、入居者はそれにより日時確認され、楽しみにされている		
44		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中も居室で静養されたり、本人希望に従っている		
45		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ◆薬局からの用途用法説明書を処方毎に専用ファイルに綴じ参考になっている ◆日々の観察を通して随時医療機関と連絡とれるようにしている ◆降圧剤服薬者は朝夕2回の血圧測定結果を記録している 		
46		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ◆得意な手仕事、縫い物、畳物など各々にあった仕事をしてもらっている ◆ボランティアさんに訪問してもらい、読み聞かせや大正琴サークルの演奏会を開いたりしている ◆カラオケで歌を楽しまれる方もいる 		
47	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ◆季節ごとに花見、新緑狩、紅葉狩等ドライブしたり外食もしたりしている ◆自宅に戻ったり、買い物にもでかけたりしている ◆随時の散歩等で地域の中を散歩したりしている 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>◆本人が金銭管理をしている人もいる</p> <p>◆買い物は代行する事が多いが、希望があればいつでも持ち出し可能である</p>		
49		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>◆希望があれば何時でも家族に電話してもらっている</p> <p>◆本人宛の郵便物は本人に渡している</p> <p>◆年賀状と暑中見舞いのはがきは毎年お便りしている</p>		
50	(19)	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>◆毎月の掲示物を変える事や季節の花々を飾る事で雰囲気づくりをしている</p>		
51		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>◆気の合った人達で同じソファーに座ることを勧めている</p> <p>◆ホールソファーで横になりたい人などは衝立などで目隠しをして休んでもらっている</p>		
52	(20)	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>◆家具も本人・家族と相談し使い慣れた家具・テレビや時計などを持ち込んでもらっている</p> <p>◆家族写真や自分の作品などを飾って本人の好きな空間を作っている</p>		
53		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>◆模様や材質の違うのれんやペーパーフラワーを居室入口に飾り、分かりやすくしている</p> <p>◆ホール席には名札を貼って混乱ないようにしている</p> <p>◆看板の設置・手すりの設置、廊下の途中に休める椅子の設置をしている</p>		